

「できることを積み重ねて」



【東京】南日本運輸

倉庫（大園圭一郎社長、中野区）は1日、中野サンプラザ（中野区）で、令和5年度入社式を執り行った。この日入社したのは高校を卒業したばかりの男性7人、女性3人、大学新卒の女性1人の計11人。入社式には大園社長を含む会社役員6人も参列した。

大園社長は訓示の際、自己紹介として自身の家族構成や生い立ち、若い頃に経験した「社長になるための修行」として働いたアル

南日本運輸倉庫 令和5年度入社式

バイト先での苦勞を語り、「頑張るための『目標』が大事」と述べた。さらに社是や行動指針など、南日本運輸倉庫が目指す「一番おいしい状態でお届けします」という使命感やブランド力の向上を挙げ、「10年後には売上高1000億円を目指す」という明確な目標を述べた。

さらに創業者で父親である先代社長の功績に対し、「入社当初は委縮する気持ちもあったが、まずは自分ので

きることを見つけ、一生懸命に励んでいるうちに、いずれそれは自分にはできない強みになることに気付い

た。皆さんも「自分のできることを積み重ねて、自分にはできないこと」にしていってください」と激励した。

役員からの訓示の後、大園社長から一人ずつ配属辞令を手渡された新入社員らは「一日も早く戦力となれるように頑張ります」最終的には大型ドライバーを目指したい「倉庫作業がしたくて入社した。一日も早く仕事を覚えて会社に貢献したい」などの意気込みを語った。

新入社員らは式典後から、新人研修を約1週間受けた後、各配属先で職務に就く。

（小澤 裕）